

講義名	日本語総合B(1年生のみ)			授業形態	
担当教員	松繁 弘之	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

主題は日本語能力試験N2レベルの読解である。『日本語総まとめN2読解』で取り上げられている様々な文章ジャンルの構成と表現について理解し、その読解の練習をする。

到達目標

到達目標は大学の講義を理解し、レポートを書くために必要となる資料を正確に読解できるようになることである。

提出課題

提出課題は毎回の授業で使用するワークシート（授業終了時に提出）である。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

ワークシートに質問欄を設け、それについて次回の授業で説明する。また、小テストなどで間違いの多い問題についても説明する。

評価の基準

ワークシート（40%）と小テスト（60%）を総合して評価する。

履修にあたっての注意・助言他

次のことに注意すること
 ・毎回授業開始時に出席を確認する。15分以上の遅刻は欠席となること
 ・5回以上の欠席は単位を取得できなくなる
 ・教室のマナー（私語、飲食、SNSなど）を守ること
 ・予言と復習を怠らぬこと

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

.日本語総まとめN2読解。	佐々木仁子・松本紀子	アスク出版	1430	9784866396057

その他

必要に応じてプリントを配布する。

授業計画

1. ガイダンス（授業内容、方法、評価、注意）
2. 身の回りの文章（1）
3. 身の回りの文章（2）
4. お知らせ・通知の文章（1）
5. お知らせ・通知の文章（2）
6. 意見文・説明文（1）
7. 意見文・説明文（2）
8. エッセイ（1）
9. エッセイ（2）
10. 新聞（1）
11. 新聞（2）
12. 論説文（1）
13. 論説文（2）
14. 模擬試験の文章（1）
15. 模擬試験の文章（2）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習（2時間）：新しい単語の意味を調べておく。
 復習（2時間）：学習した文章を読み直し、理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目を受講することで、課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、正確で適切な日本語を用いて収集・調査、整理することができる素養が身につく。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考